

＜上山高原自然再生事業実施計画の概要＞

1 実施者及び協議会の名称

実施者：兵庫県、特定非営利活動法人上山高原エコミュージアム、新温泉町
協議会：上山高原自然再生協議会

2 対象となる区域及びその内容

(1) 自然再生の対象となる区域

兵庫県北西部に位置する新温泉町の南西部、氷ノ山後山那岐山国定公園内。自然再生事業は、高原部となる県有地（373ha）および町有地（約 20ha）を対象とする（図-1）。

(2) 自然再生の実施内容

上山高原とその周辺地は扇ノ山等の国有林のブナ林に代表される自然性の高い原生的自然と麓の里に住む人々の営みの中で維持されてきたススキ草原等二次的自然があるが、植林等により原生的自然が減少し、二次的自然も人の手による管理がなされず面積が極度に減少している。その自然再生と保全を図る。

＜目 標＞

上山高原及び周辺地域において、ススキ草原を維持し、ブナを中心とした落葉広葉樹林の森を再生することを目標とする。

＜実施計画の対象期間＞

本計画の対象期間は、全体構想で対象とする期間（2010～29年）の内、当面の5年間（2010～14年）とする。

＜ススキ草原の復元＞

火入れ・牛の放牧等、多様な手法の実証実験を行う。モニタリングによる成果のフィードバックを繰り返しながら、ベストミックスな管理手法の確立を目指す。

安定したススキ草原の維持手法については、手刈り、火入れ、牛の放牧、無作業の組み合わせにより、生物多様性やコスト面で最適な方法を検証する。

＜ブナの森の復元＞

スギの人工林を対象に針広混交林を基本とした伐採、植樹、育林を行う。

ブナ林の再生についても、間伐率や間伐手法（列状、パッチ状等）パターンの設定、天然下種更新や直播き（種子をまく）等の多様な育成実験を行い、最適な初期整備及び管理手法を検討する。ブナ林の復元にあたっては、地域の生物多様性に悪影響を与えることのない上山高原産の種子、苗木を使用する。

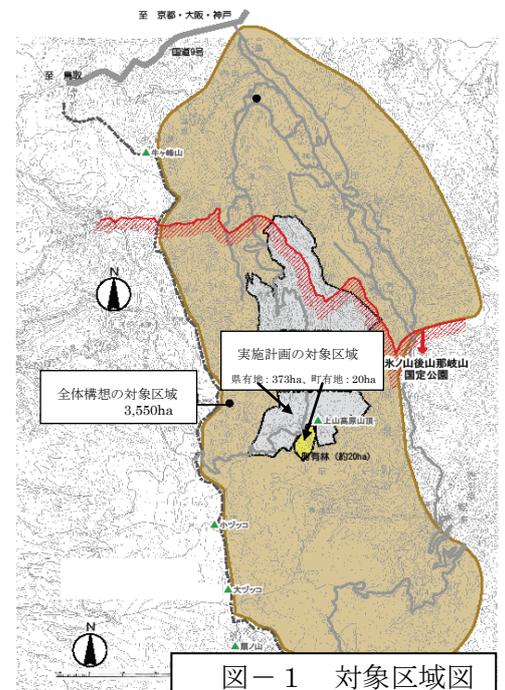


図-1 対象区域図